



S H I S E I K A I
N U R S I N G
S C H O O L

学校案内

School Prospectus



至誠会看護専門学校

Shiseikai Nursing School



一般社団法人至誠会

President, Shiseikai General Incorporated Association



東京女子医科大学
創立者 吉岡 彌生
Yayoi Yoshioka

至誠

「至誠」は、創設者吉岡荒太・彌生夫妻が信条として来た言葉であり、東京女子医科大学の理念でもあります。

吉岡彌生先生は、「至誠」という言葉を「常住普段私が患者に接するときの根本的な心構えを短い二つの文字のなかに言い現したもの」(『吉岡彌生伝』)だと表現されました。創立者が身をもって実践した信念「至誠」は、本学の卒業生、教職員、学生の信条として今なお受け継がれています。

至誠会概要

至誠会は東京女子医科大学創立者吉岡彌生先生により寄贈された動産・不動産(病院建物)を基とし、大正15(1926)年に公益法人として登録されました。「社会事業・公衆衛生に関する諸般の施設及び運営をなし、国民福祉の増進を図ること」を目的とし、東京女医学校、東京女子医学専門学校、東京女子医科大学及び東京女子医科大学医学部の卒業生を会員とする同窓会として発足し、公益法人として発展を続けてまいりました。

平成23年には、国の民法改正に従い、当会は一般社団法人に移行することを選択しました。

当会の事業所は本部、至誠会第二病院、至誠会看護専門学校、大阪事業部から成り立っています。

東京女子医科大学医学部卒業生は10,960名で、一般社団法人至誠会は、47都道府県支部に会員がおり、正会員4,507名、準会員(東京女子医科大学医学部学生)は668名、賛助会員は6名です(2023年5月1日現在)

学校の沿革

本校は、「一般社団法人 至誠会」を設置主体とし、保健師助産師看護師法および学校教育法に基づく看護師の養成を目的とした専修学校として設置されている。

昭和62年 4月	地域医療の向上、近隣の医療施設の看護力の向上を目指し継続的によりよき看護を提供できる人材を育成する目的で学校設立準備を始める
昭和63年 4月	学校設立準備室を開設
平成元年 4月	厚生労働省より看護師養成所として指定を受ける
平成 2年 2月	専修学校設置認可
平成 2年 4月	至誠会看護専門学校(2年課程)開校
平成 7年 1月	文部科学省の専門士(看護専門課程)の認定校となる
平成23年12月	3年課程への移行が決定
平成24年 4月	3年課程準備室を開設
平成25年 2月	新校舎竣工
平成25年 2月	厚生労働省より課程変更を承認される
平成25年 4月	至誠会看護専門学校(3年課程)開校
平成26年 3月	至誠会看護専門学校(2年課程)閉校

ご挨拶

一般社団法人至誠会は、東京女子医科大学創立者吉岡彌生先生により「社会事業・公衆衛生に関する諸般の施設及び運営をなし、国民福祉の増進を図ること」を目的とし、東京女子医科大学医学部の卒業生を会員とした同窓会組織として、大正15年に公益法人として認可を受けた歴史ある同窓会です。同窓会組織としては珍しく、病院運営（至誠会第二病院）や看護専門学校の運営（至誠会看護専門学校）などをはじめとし、積極的に社会事業を行いながら今日まで発展してまいりました。

至誠会看護専門学校は、平成2年、地域医療の向上と近隣の医療施設の看護力の向上を目指し、2年課程として開校いたしました。以来順調に運営がなされ、平成26年3月までに約660名の看護師を送り出し、国家試験合格率95.5%という高い実績で2年課程は終了いたしました。そして2013年4月には3年課程として新設し現在に至ります。

本校の教育理念にある「至誠と愛」は、東京女子医大の創立者、吉岡彌生学頭の座右の銘であり、「至誠」は極めて誠実であること、「愛」は慈しむ心であります。多忙な日々の中でも、これらの心を忘れないでいただきたいと思っております。

さらに、吉岡彌生先生が示された、東京女子医科大学の前身、東京女醫學校創立当時の建学の精神は、精神的・経済的に自立し社会に貢献する女性を輩出することでありました。本校で学ばれる学生の皆さんが、患者様やそのご家族にはもちろん、周りのスタッフにも「至誠と愛」の精神をもって看護にあたり、医療人としてだけでなく、社会人としても信頼される人になってほしいと願っております。



一般社団法人至誠会
代表理事・会長
齋藤 麗子 Reiko Saito



至誠会看護専門学校
校長
足立 ヒトミ
Hitomi Adachi

至誠会看護専門学校は東京女子医科大学医学部の同窓会である一般社団法人至誠会が公益事業の一環として運営しております。平成2年に2年課程として開校し多くの優れた看護師を育成してまいりました。平成25年からは3年課程となり新設した校舎で再出発し、高い国家試験合格率で卒業生を地域医療・福祉に貢献できるように送り出しております。

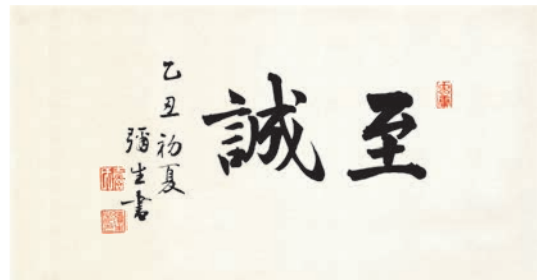
本校は創設者・吉岡彌生先生の信条である「至誠と愛」の精神に基づき、少人数でのきめ細かな指導を行い、看護専門職を身に着けるとともに一人の人間として尊敬される人材を育成すべく努めております。

看護師を志す意欲のある方々が一人でも多く当校で学んでいただけるような環境づくりを今後も目指してまいります。

features

教育理念

本校は、一般社団法人至誠会の「至誠と愛」の精神に基づき、豊かな人間性を基盤に、主体的に看護が実践できる能力を養い、もって多様に変化する社会の要請に応えうる専門的知識・技術・態度を身につけ、地域医療・福祉の向上に寄与する人材の育成に努める。



教育目的

本校は、社会事業並びに公衆衛生に関する諸般の運営をなし、もって国民福祉の増進を図ることを目的とする至誠会の活動の一環として、多様に変化し複雑化している社会における医療に貢献できる資質を有する看護師を育成することを目的とする。



教育目標

- 1 人間を身体的・精神的・社会的に統合された一人一人価値ある存在として理解する能力を養う。
- 2 健康と生活を、人々を取り巻くすべての環境との相互作用の視点から理解する能力を養う。
- 3 あらゆる健康レベルにある人の課題に対し、科学的根拠に基づいた臨床判断および、主体的な看護実践ができる基礎的能力を養う。
- 4 保健・医療・福祉制度と他職種の役割を理解し、チーム医療を実践するとともに、それらを調整するための基礎的能力を養う。
- 5 専門職業人としての使命と責任を自覚し、倫理に基づいた看護実践ができると共に、継続的な自己教育力の向上をはかる。
- 6 生命の尊厳と人間愛をもって行動できる心豊かな人間性を養い、人との相互関係の中で、自律した社会人としての成長をはかる。



教育の特徴

学生の主体性と創造性を養い、
人への「至誠と愛」の看護を提供できる
実践者を育てる。

1. 少人数制であり、個別指導を基本としている。

- 1) 教員全員で話し合いながら、学生一人一人に真摯に向き合い“あきらめない対応”により、学生の個々の学習目標が達成できるように関わっている。
- 2) 自分自身で考え、学んでいく授業内容を組み、“考える能力”を養えるように関わっている。
- 3) 学生が幅広い学習と様々な役割を体験することで、自らが目標をつかみ責任を持った行動が出来るように支援する。
- 4) 健康管理・接遇など学生の内から社会人として必要な行動がとれるよう学んでいる。

2. 社会が看護に何を求めているかを考え、 現実志向型教育を重視している。

- 1) 教科外活動で、ボランティア、地域の人たちとの交流ができる。
- 2) 地域の「農業祭」に参加して、地域住民の健康増進への関わりを学んでいる。
- 3) 統合分野の災害看護では、消防士による上級救命講習を受け、人の生命を救うための救命技術を学んでいる。
また、実際の救急車同乗実習で、緊急に入院する人々への看護を学んでいる。

3. 実習病院は、主に至誠会第二病院で実施するため、 「至誠会」および学校の理念が、一貫して繋がっている。

- 1) 実習病院は学生が積極的な学びができるよう学習環境を整えている。



在校生・卒業生の声

至誠会看護専門学校は、学習面のサポート体制が充実しており、授業だけでなく、朝学習や国家試験対策を積極的に行っており、勉強に真剣に向き合うことができる学校です。同級生の年齢層も幅広く、グループワークや実習のときには多様な意見交換ができることも、社会人の学生を多く受け入れているこの学校の良さだと思います。実習や実技練習では、厳しくも丁寧に教えて下さる先生が多くいて、放課後に個別指導に付き合ってもらったり、看護師として長年現場で従事された先生方のご指導を受けることができ、学びを深める環境が整っています。

そして、ボランティア活動の機会もコロナ禍でできる範囲ではありますが、地域の方々と触れあうことができ、患者という視点だけでなく、地域に住まう人という視点から関わることができ、実習では得られない学びの体験ができました。看護学校は3年間と短い期間で必要な知識を習得しなければならず、決して楽ではありませんが、仲間と切磋琢磨して乗り越えることができている。そんな素敵なメ

ンバーと出会えたことが私の財産になるだろうと思いますし、これから入学する後輩たちにも、この至誠会看護専門学校に入学して仲間がみつけれたらいいなと思っています。

教員・講師に関すること

- ・教育理念が実習病院と同じで学びやすい。
- ・先生が生徒一人一人を気にかけてくれ、相談にのってくれる。
- ・あいさつなど接遇を大切にしている。
- ・国家試験対策が充実している。
- ・コロナ禍ではすぐに遠隔授業にするなど、臨機応変に対応してくれる。
- ・先生が話やすく、希望すれば個別指導もしてくれるなど熱心に教えてくれる。
- ・生徒の学習を第一に考え、指導してくれる(少人数制)
- ・先生と生徒の距離が近く、決して生徒を見捨てない。
- ・先生の援助技術(実践)がとても勉強になる。

施設・設備に関すること

- ・施設全体がきれいで設備が充実している。
- ・技術練習がたくさんできる。
- ・感染症対策が徹底している。
- ・勉強するスペースがたくさんある。
- ・図書室の本が充実している。
- ・実習服が清潔でエーデルワイスの刺繍がかわいい。

実習先が近くて便利である

- ・実習先に先輩が多く、看護師がやさしいので、実習が楽しい。
- ・地域の人との交流が盛んである。
- ・奨学金制度や学生寮がある。
- ・コロナ禍でも実習ができている。

学生間の関係に関すること

- ・生徒同士仲が良く、団結力がある。
- ・他学年の交流があり、先輩が色々教えてくれる。
- ・年齢の違う人がたくさんいるので、社会人基礎が身につく。

アドミッション・ポリシー

(当校が求める入学者)

本校は、一般社団法人至誠会の理念である「至誠と愛の精神」に基づき、豊かな心を基盤に、主体的な看護が実践できる能力を養い、看護師としての使命感を持ち社会の要請に応えうる人材を育成します。このような人材育成の基盤となる以下の能力・態度を有する者を求めています。

1. 素直で正直な人
2. 看護師になりたいという強い思いがある人
3. 目標に向かってやりとげようと努力する人
4. 困っている人に対し手助けすることができる人
5. 他の人と力を合わせ、社会・地域に貢献したいと考えることができる人

実績と経験による現場に即したカリキュラム

	1 年次	2 年次	3 年次
基礎分野	科学的思考の基盤 ● 論理的思考 ● 看護物理学 人間と生活・社会の理解 ● 文学 ● 心理学 ● 英語 ● 人間関係論 ● 医療社会学 ● 保健体育	科学的思考の基盤 ● 統計学 ● 情報科学 人間と生活・社会の理解 ● 倫理学 ● 人間の能力の開発 ● 教育学 ● 社会探訪	
専門基礎分野	人体の構造と機能 ● 形態機能学Ⅰ ● 形態機能学Ⅱ ● 形態機能学Ⅲ ● 形態機能学Ⅳ ● 形態機能学Ⅴ 疾病の成り立ちと回復の促進 ● 微生物学 ● 病態生理学Ⅰ ● 病理学 ● 病態生理学Ⅱ ● 薬理学 ● 病態生理学Ⅲ ● 代謝栄養学 ● 病態生理学Ⅳ ● 治療概論 ● 病態生理学Ⅴ 健康支援と社会保障制度 ● 生活科学	健康支援と社会保障制度 ● 医療と法 ● 社会福祉 ● リハビリテーション	健康支援と社会保障制度 ● 医療概論 ● 予防医学 疾病の成り立ちと回復の促進 ● 病態生理学Ⅵ
専門分野	基礎看護学 ● 至誠と愛の看護入門 ● 科学的看護の実践過程 ● 生命を守る看護Ⅰ ● 生命力の調和を維持する看護 ● 回復過程を促進する看護Ⅰ ● 回復過程を促進する看護Ⅱ ● 回復過程を促進する看護Ⅲ 地域・在宅看護論 ● 地域と暮らし・環境の査定 ● 社会資源を活用した暮らし 成人看護学 ● 成人看護学概論 精神看護学 ● 精神看護学概論 臨地実習 ● 看護の入門実習 ● 患者から学ぶ実習	基礎看護学 ● 健康と人権 ● 看護の創造 ● 生命を守る看護Ⅱ ● 回復過程を促進する看護Ⅳ ● 回復過程を促進する看護Ⅴ 成人看護学 ● 生活過程を整える技術 ● 生活習慣を獲得し発展させる技術 ● 社会関係を維持発展させる技術 ● 生活過程を整えるプロセス ● 学習支援技術 小児看護学 ● 小児看護学概論 ● 子どもの生活過程を整える技術 ● 子どもの生活過程を整えるプロセス ● 子どもの健康維持増進技術 精神看護学 ● 精神に障害のある人の生活過程を整える技術 ● エンパワメント支援 ● こころの健康と生活支援 臨地実習 ● 地域・在宅看護論実習Ⅰ ● 成人・老年看護学実習Ⅰ ● 精神看護学実習Ⅰ ● 至誠と愛の看護実践Ⅰ	地域・在宅看護論 ● 地域・在宅看護概論 老年看護学 ● 老年看護学概論 ● 老年の生活過程を整える技術 ● 老年の生活過程を整えるプロセス ● 老年の健康維持増進技術 母性看護学 ● 母性看護学概論 ● 周産期にある人の生活過程を整える技術 ● 周産期の生活過程を整えるプロセス
			地域・在宅看護論 ● 在宅医療処置技術 ● 対象者・家族との夢の共有プロセス ● 多職種連携 母性看護学 ● 女性の健康維持増進技術 看護の統合と実践 ● 看護管理・国際看護 ● 医療安全 ● 災害看護 ● 看護研究 臨地実習 ● 地域・在宅看護論実習Ⅱ ● 成人・老年看護学実習Ⅱ ● 成人・老年看護学実習Ⅲ ● 小児看護学実習 ● 母性看護学実習 ● 精神看護学実習Ⅱ ● 至誠と愛の看護実践Ⅱ

実習施設 主な実習は学校の目の前にある至誠会第二病院で行います。最新の医療と設備の整った病院では、看護師育成の経験豊富な実習指導者の下、充実した実習体験ができます。実習を通して、多くの方々との出会いや経験により自分を磨くことができます。



一般社団法人至誠会第二病院
東京都世田谷区上祖師谷5-19-1



医療法人財団赤光会
斎藤病院
東京都府中市浅間町4-1



医療法人社団桐光会調布病院
調布訪問看護ステーション
東京都調布市下石原3-45-1



社会福祉法人敬寿会
東京敬寿園
東京都世田谷区上祖師谷7-1-1



医療法人社団輝生会
在宅総合ケアセンター成城
成城リハケア病院
訪問介護ステーション成城リハケア
東京都世田谷区上祖師谷3-8-7

- 東京女子医科大学病院 ■至誠会保育園 ■成城消防署
■訪問看護ステーション(■エルハートナースケア■ウィズユー■ルミナス■LE在宅・施設 訪問介護リハビリステーション)等

学校生活

年間行事 Event Calendar

かけがえのない仲間と一緒に、
充実した3年間を送ることができます。

4月	5月	10月	11月	12月	3月
入学式 歓迎会	健康診査	遠足 看護研究学会参加	防災訓練	学生祭(誠祭) キャンドルサービス	戴帽式 特別講演 送別会 卒業式



卒業時の資格

1. 看護師国家試験の受験資格
2. 保健師・助産師学校養成所の入学または入所資格
3. 専門士称号の取得

修学費用

種別	入学時 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期
入学金	250,000	—	—	—	—	—
授業料(年額)	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000
実習教材費(年額)	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000
施設維持費(年額)	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
合計	598,000	348,000	348,000	348,000	348,000	348,000

(円)

奨学金制度

「至誠会第二病院奨学金」

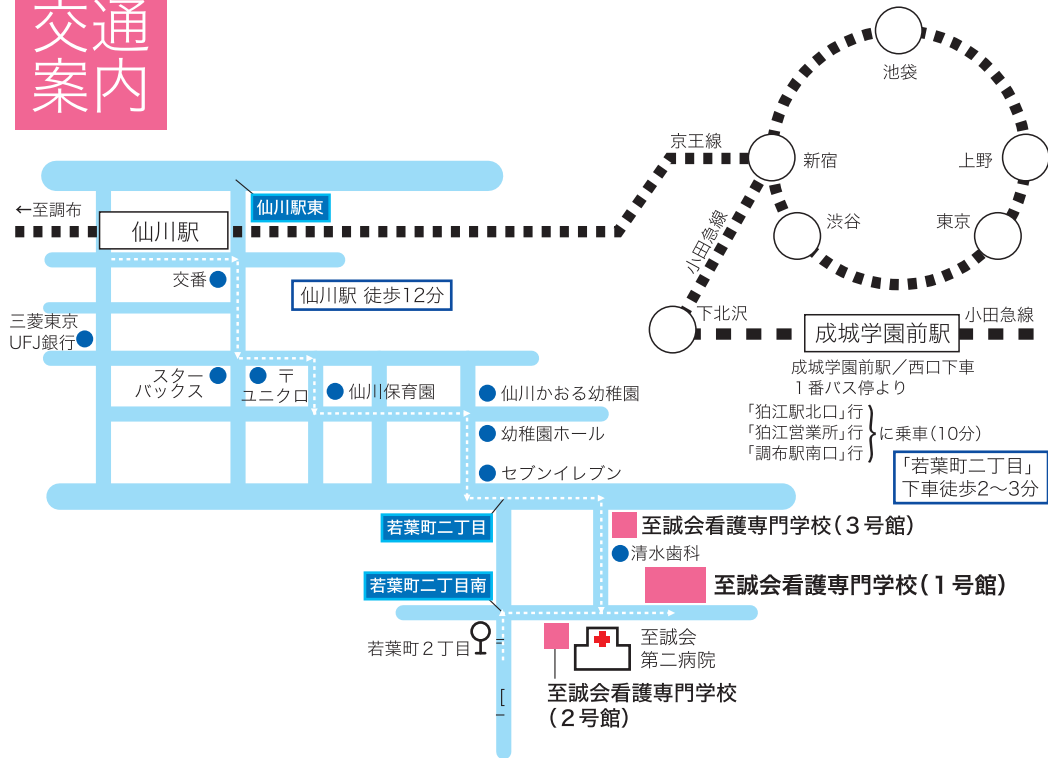
1. 奨学金 50,000 円/月額 (総額 1,800,000 円/3年間)
 2. 学生寮(看護師寮)20,000 円/月額負担
- ※上記 1 および 2 のどちらかを選択

「その他奨学金」

1. 東京都育英資金
2. 東京都看護師等修学資金
3. 日本学生支援機構



交通案内



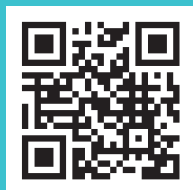
お問い合わせ先



至誠会看護専門学校

Shiseikai Nursing School

〒157-0065 東京都世田谷区上祖師谷5丁目23番1号
至誠会看護専門学校 事務室
電話 03-6279-6601
FAX 03-6279-6602
URL : <https://www.siseigak.ac.jp/>
E-mail : siseigak3@basil.ocn.ne.jp
平日 9 : 30 ~ 16 : 30
土曜 9 : 30 ~ 12 : 30 (第1、第3を除く)



<https://www.siseigak.ac.jp/>